

港北区の 神社仏閣と花と池を巡る一日



日蓮宗長光山**妙蓮寺** 観応元（1350）年、今の横浜市神奈川区新明町のあり大経院妙仙寺と称していた。日蓮上人に帰依の深かった波木井善太郎公が開山。後に小田原北条家、徳川家より寺領五石のご朱印を賜る。明治に横浜鉄道臨海線の引き込み線の敷地に際し、現在の妙蓮寺の地（蓮光寺の建つ）に移転。妙仙寺と蓮光寺のそれぞれの一文字をとって妙蓮寺となる

本堂わきの受付机の上に美しい絵柄の異なる御朱印が300円とありました。月ごとに絵柄が変わるようです。



小さな「**菊名池弁財天**」

もとは妙蓮寺の境外社であった。弁財は、一般的には琵琶を持っているが、こちらの弁財天は右手に剣、左手に宝玉を持っており横浜七福神である。



菊名池公園

春は桜、冬には野鳥が見られる。道路を挟んで反対側は、菊名池公園プールが整備されている。



菊名桜山公園

ここでお昼を食べましょう。



蓮勝寺 浄土宗の寺院で山号は菊名山。正和4（1315）年に蓮勝上人が開山。本尊は阿弥陀如来坐像。境内には運慶作で横浜七福神の「毘沙門天王」を祀る毘沙門堂がある。



菊名神社 昭和の初めまで神明社・杉山神社・浅間神社・八幡神社・阿府神社の5社が村社としてあったが、昭和10(1935)年、現在の菊名町公園（当時の杉山神社の地）に合祀され「菊名神社」と改められた。その後現在の場所（当時の八幡神社の地）に社殿を移設した。



手水鉢の四方を支える「がまんさま」の石像は、地域の親しみと尊敬を集め今に至る。

